

令和8年度 第1回アドバイザリー会議

■日時 令和8年7月7日(火)

■会場 日向市役所 庁舎2階 災害対策本部室・オンライン

1. あいさつ

2. アドバイザリー会議について

3. これまでの経緯

(1)検討体制・基本構想について

(2)市民共創の取組について

(3)策定作業の進捗状況

4. 議事

(1)居心地のよさの実現について

5. 今後の予定

アドバイザー会議は、令和7年度に基本構想の策定に向けて設置した会議を引き継ぎ、令和8年度も継続して開催するものです。

基本構想で整理した理念・コンセプトや施設像を踏まえ、事業・サービス、機能、管理運営の方向性などをより具体化するため、市民共創の取組「日向ラボ・ラボ」やアドバイザー会議での助言・提案をいただきながら、基本計画の策定につなげていきます。

氏 名	所 属	専門分野	備 考
桑野 齊	宮崎大学地域資源創成学部 教授	自治体政策、コミュニティ政策	R7 継続
青山 鉄兵	文教大学人間科学部 教授	社会教育、青少年教育、若者の居 場所づくり	R7 継続
尾野 薫	宮崎大学地域資源創成学部 講師	景観デザイン、土木計画、中心市 街地活性化	R8 新規
山田 あすか	東京電機大学未来科学部 建築学科 教授	建築計画(医療・福祉建築, 居住 空間, 都市空間)	R8 新規
吉成 信夫	中部学院大学 客員教授	図書館運営	R8 新規

第1回(6.26)	第2回(9.24)	第3回(11.28)	第2回(9.24)
・これまでの経緯 ・基本方針 ・検討体制 ・令和7年度の実施内容 ・日向ラボ・ラボ	・基本理念、ビジョン、コンセプト ・子育て支援機能について	・ビジョン、コンセプト ・こども、若者の居場所づくりについて	・次年度の実施について

■ いただいた主なご意見

- ・市民協働、共創の意識や先進事例を踏まえて丁寧に進めている点を評価する。
- ・10～20年後の社会変化を見据えた対応ができるよう、柔軟な施設計画が必要。
- ・市民からの期待がある中で、図書館本来の役割が後回しにならないよう配慮が必要。
- ・単なる施設の引っ越しではなく、50年後も利用される施設となるための視点を持ってほしい。
- ・“図書館”と呼ぶことで若者は行きづらくなる。新しい施設の名称を検討してはどうか。
- ・施設の機能だけでなく、それを運用していく人材が重要。

3.これまでの経緯

(1)検討体制・基本構想について

これまでの経緯

3. これまでの経緯 (1) 検討体制・基本構想について

令和3年度～令和7年度の経緯

R
3

- ・第2次日向市総合計画・後期基本計画
「新たな図書館複合施設の調査研究を進める」ことを示す。
- ・関係課職員による論点整理、先進地視察

R
4

- ・関係課職員による論点整理、先進地視察

R
5

- ・関係課職員による意見交換、先進地視察
- ・「図書館等複合施設整備調査研究報告書」策定

R
6

- ・日向市図書館複合施設整備庁内検討委員会設置
- ・**「日向市図書館複合施設整備基本方針」**策定・公表

R
7

- ・第3次日向市総合計画・前期基本計画
「新たな図書館複合施設の整備を進める」ことを示す。
- ・**「日向市図書館複合施設整備基本構想」**策定・公表

基本理念(R6策定)

学びの種 をまき 創造の芽 を育て 希望の実 を結ぶ

市民のサードプレイス

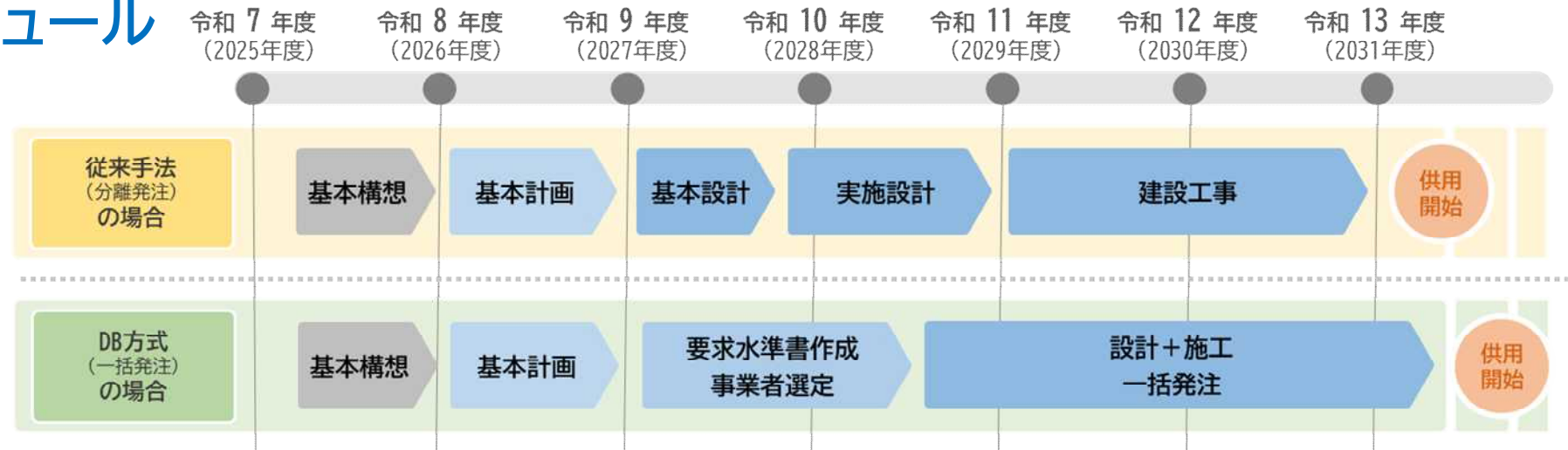
学びの種をまき：学びの機会やきっかけを提供し、知識の基礎を築く
創造の芽を育て：創造性やアイデアを育む
希望の実を結ぶ：個人や地域の未来への希望や発展につながる
市民のサードプレイス：誰もが快適に安心して過ごせる

コンセプト(R7策定)



「ひなたリビング」は、本を読む、創造活動に励む、学び交流する、心地よくくつろぐなど、誰もが思い思いに過ごせる第三の居場所です。新しいことへの挑戦、人や本の出会いを通じて自分の可能性を広げ、地域や仲間とのつながりが生まれます。
この施設が、市民の日常に安心と発見をもたらし、多様な世代が集い、学びや交流を重ねながら、まちの未来を共に育む拠点となることを目指します。

スケジュール



基本方針 日向市図書館複合施設整備基本方針(令和7年2月策定)

市民ワークショップやアンケート、関係団体との意見交換の実施により得た市民ニーズ等を踏まえながら、現状と課題を踏まえ、新しい図書館複合施設の基本理念や基本的な方針・方向性について検討を示すもの。

基本構想 日向市図書館複合施設整備基本構想(令和8年3月策定)

基本方針に基づき、関係団体との意見交換や民間事業者ヒアリングを行うとともに、市民がやってみたいことを「日向ラボ・ラボ」で実証実験しながら、コンセプト、機能、規模、建設場所、概算事業費、工程など検討を行った。

基本計画

基本構想で描いた施設像を、より具体的な事業・サービス、機能、運営の方向性として整理し、新しい図書館複合施設の設計・工事を進める上での根幹となる計画。令和8年度末の策定を予定。

基本設計

新しい図書館複合施設の構造や配置、レイアウト、機能や設備、内外のデザイン等を設計書としてとりまとめるもの。

実施設計

基本設計に基づき、工事施工を考慮した上で、デザイン面・技術面の両面での詳細な設計書。工事施工に向けて工事費の具体的な積算を行うもの。

建設工事

実施設計に基づき、土木や建築など建設事業に関連する全般的な工事を行うもの。

令和8年度

- 4月20日(月)・21日(火) 先進地視察(海南省、茨木市ほか)
- 4月28日(火) 庁内ワーキンググループ会議
- 4月29日(水・祝) 図書館イベント(第1回得意わざ大学 スマホカメラ講座)
- 5月 9日(土) 図書館イベント(第2回得意わざ大学 iPad DJ講座)
- 5月10日(日) 図書館イベント(春のとしょかんまつり)
- 5月15日(金) 先進地視察(小林市TENAMUビル、都城市立図書館)
- 5月18日(月) 庁内検討委員会
- 5月21日(木) 庁内ワーキンググループ会議
- 5月22日(金)～29日(金) 基本構想市民説明会
- 6月 4日(木)～29日(月) 新しい図書館を語る会(関係団体意見交換会)
- 6月25日(木) 先進地視察(別府市)



- 開館時間 9:00～19:00(令和8年4月～)
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)・年末年始・特別図書整理期間

建築年月日	昭和40年(1965)年3月1日
延床面積	1,202.17㎡ 本館 : 908.52㎡ 郷土資料庫: 86.54㎡ 書庫 : 180.50㎡ 機械庫 : 26.61㎡
構造	鉄筋コンクリート造 2階建て
利用者数	119,760人
蔵書数(開架数)	179,919冊(103,434冊)
貸出冊数	個人157,358冊、団体35,778冊
登録者数	6,380人

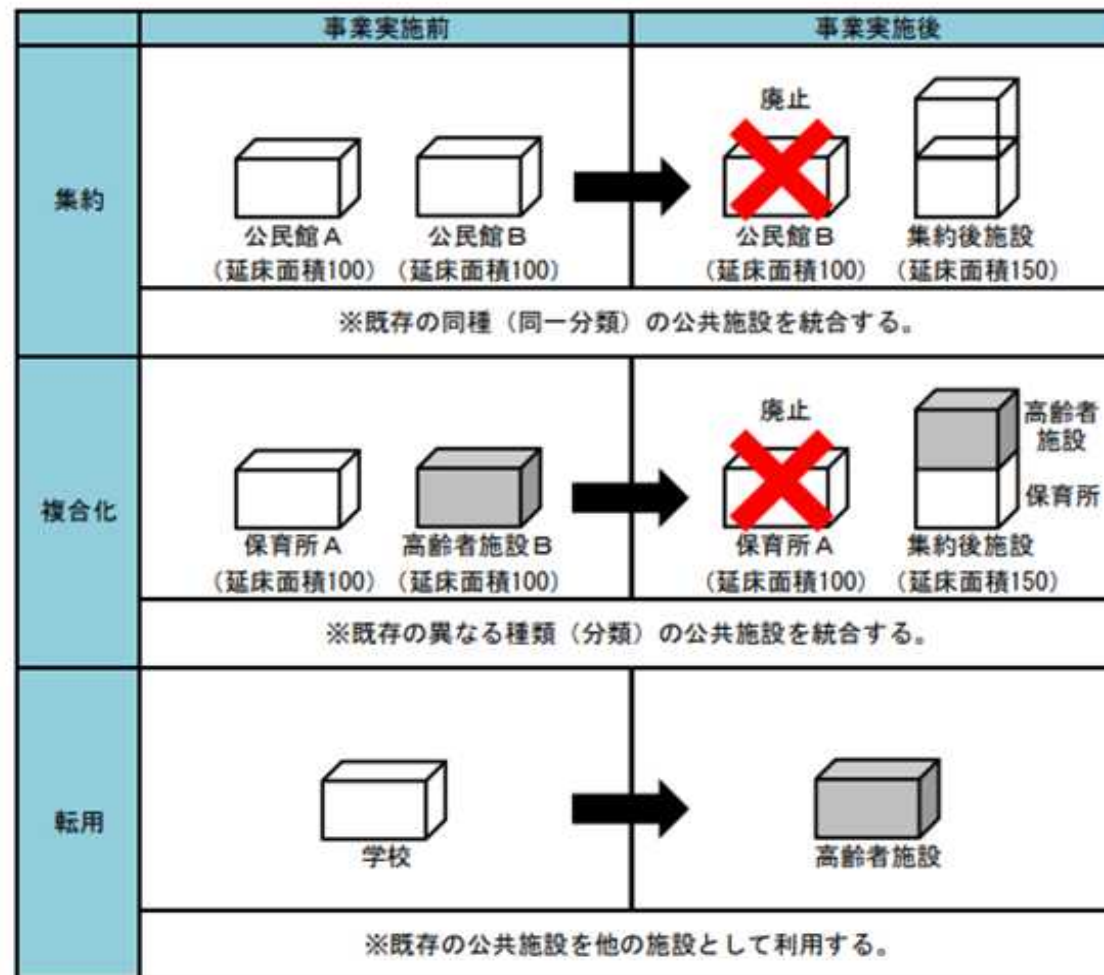


- 建築から60年が経過し、安全性・快適性の面で課題
- 閲覧・学習・情報機器スペースが不足し、ゆったり滞在しにくい
- 書架間隔や動線の制約があり、高齢者や障がい者にやさしい環境が十分ではない。
- 蔵書の充実に加えて、学習、交流、デジタル、居場所づくりが求められている。

項目	基本構想での整理内容
導入する機能	図書館／子育て支援／生涯学習・市民活動／カフェ・交流・くつろぎ空間
施設規模	施設全体の延床面積 約6,250㎡
建設予定地	市庁舎隣接地(敷地面積 約7,200㎡)
概算事業費	(1) 設計・監理・調査費 8.3億円 (2) 建設費 65.1億円 (3) 用地費、備品什器費、中央公民館解体費 14.6億円
事業手法	事業手法は従来手法又はDB方式で検討 維持管理は直営または指定管理者制度の導入を検討

■ 補足

施設規模や概算事業費は現在の想定。今後の基本計画・設計段階で引き続き精査。



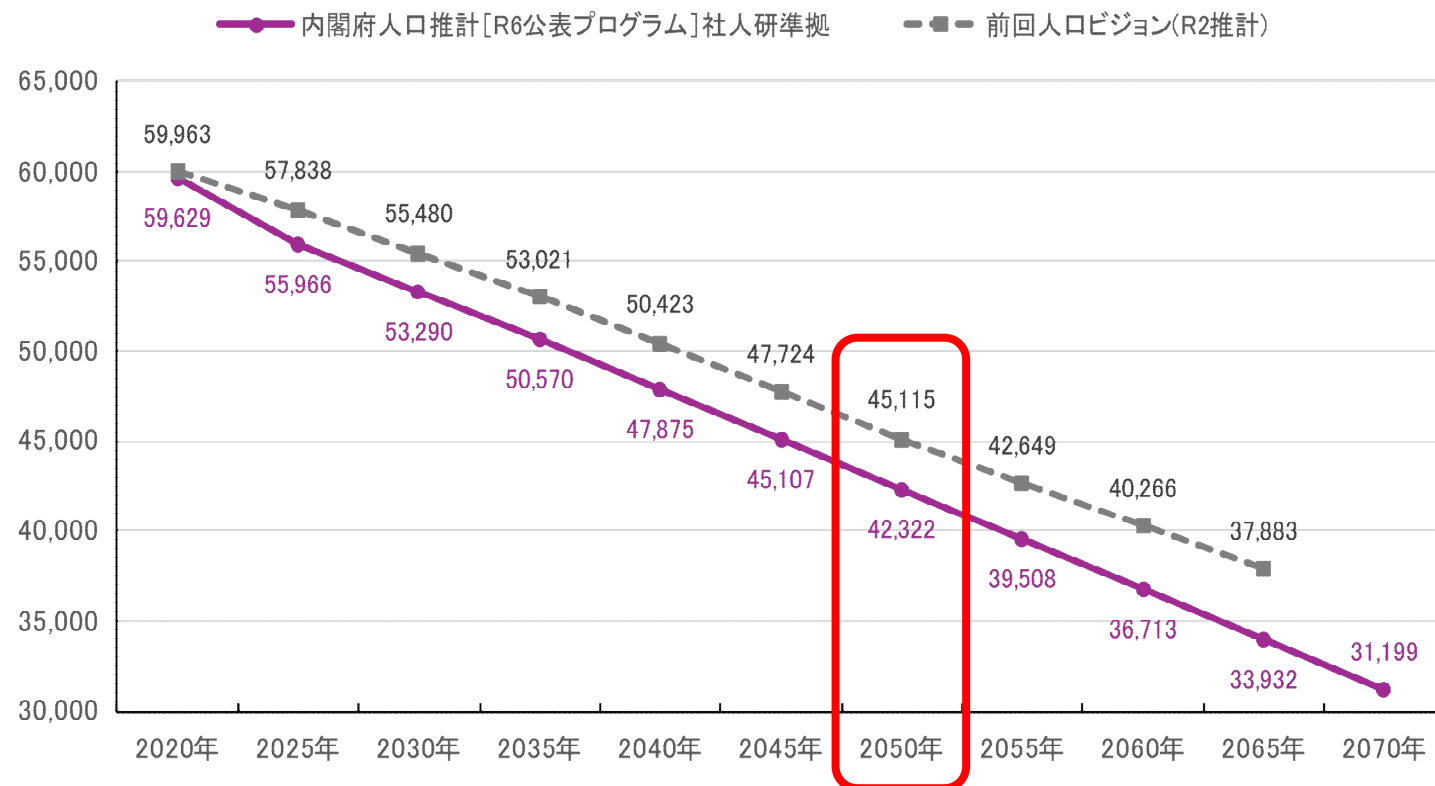
■ 施設の集約や複合化を図りながら、既存の公共施設を他の施設として利用するなど、公共施設マネジメントの考え方に沿って施設整備を検討する。

機能区分	既存面積	想定面積
図書館	 日向市立図書館 (約1,200㎡) 約1,200㎡	約2,500㎡
子育て支援	 健康管理センター(子育て支援:約600㎡) 市庁舎こども課(約180㎡) 地域子育て支援拠点(約70㎡) 約850㎡	約1,250㎡
生涯学習・市民活動	 日向市中央公民館(ホール等:約1,150㎡) 取り壊し 市民活動支援センター(約400㎡) 東郷地区文化センター(ホール:約800㎡) 約2,350㎡	約1,250㎡
カフェ・交流・くつろぎ空間	—	約300㎡
共用部 ※全体の約15%	—	約950㎡
合計面積		約6,250㎡

3.これまでの経緯

(2)市民共創の取組について

- 人口減少・少子高齢化が進行：社人研準拠推計では2050年人口 42,322人（目標 44,000人）。
 - ➡ 将来の利用者規模・年齢構成を踏まえた計画が必要。
- 第3次日向市総合計画：将来像「人と自然が響き合い、にぎわいあふれる共創のまち日向」。
 - ➡ 駅周辺整備・市庁舎整備で培った「共創」の文化を図書館複合施設でも継承。



日向ラボ・ラボとは、市民の皆さんと新しい図書館複合施設の整備を目指す市民参画型の共創プロジェクトです。

「市民がやってみたいこと」を実証実験する場として全7回開催し、延べ1,953人の方にご参加いただきました。

第1回	北欧型図書館に関する講演。理想の図書館に関するアイデア100個を提案するワークショップ。
第2回	屋内遊び場や移動図書館、読み聞かせ、育児相談など親子向けイベントを実施。
第3回	中高生が行きたくなるカフェづくりをテーマとした体験型ワークショップ。
第4回	若者の居場所づくりに関する講演。「若者が来たくなる図書館」をテーマとしたワークショップ。
第5回	新潟県小千谷市ひと・まち・文化共創拠点「ホントカ。」の事例学習。職員や市民との意見交換。
第6回	図書館とまちのにぎわいをテーマに施設完成までにやりたい企画のロードマップ作成。
第7回	図書館への愛着を深めるための本箱づくりワークショップ。

HYUGA LABO LABO 日向ラボ・ラボってなに?
みんなで創る新しい図書館

What's HYUGA LABO LABO?
日向ラボ・ラボは市民の皆さんと新しい図書館複合施設の整備を目指す市民参画型の共創プロジェクトです。

新しい図書館の整備に向けて
市民のみんながやってみたいことを共に試して創っていく場所
新しい図書館の使い方を話しながら実証実験する場所

HYUGA LABO
対話の手法であるリビングラボ（LIVING LAB）と、実証・検証を重複するラボラトリー（LABORATORY）の「ラボ」を組み合わせて日向ラボ・ラボです。

市民のみんなが新しい図書館に期待すること&やってみたいこと

- いろんなワークショップに参加してみたい
- 休日にとりあえず行きたくなる図書館がいい
- 子どもや若者が賑やかに過ごせる場所にしたい
- 短歌や俳句、絵画などの作品展示があると楽しい
- カフェがあって軽食もできる図書館がいいな
- フリースペースで友達と勉強したい
- 子どもが楽しめる遊び場を併設してほしい
- 学びやリスキングに活用できるといいかも
- 子育て中に、ほっと一息つけるスペースが欲しい

令和7（2025）年度の日向ラボ・ラボの取組 延べ1,953人参加!!

回数	開催日時	内容	参加者数
第1回	R7.7/5開催	「新しい図書館ってどんな場所になったら素敵だろう?」を話そう	参加者/111人
第2回	R7.8/8~10開催	移動図書館と子どもの遊び場をやってみよう	参加者/1,686人
第3回	R7.9/27開催	ものづくり体験ワークショップをやってみよう	参加者/29人
第4回	R7.11/29開催	子ども・若者の居場所づくりについて考えてみよう	参加者/50人
第5回	R7.12/14開催	新潟県小千谷市の新しい図書館のことを聞いてみよう	参加者/14人
第6回	R8.1/24開催	新しい図書館の完成までにやってみたいことを考えてみよう	参加者/24人
第7回	R8.2/14開催	図書館の本箱に自分のデザインを刻印してみよう	参加者/39人

お問い合わせ 総合政策課 ☎66-1001

あなたの居場所を考えようみんなで創る新しい図書館



HYUGA LABO LABO

HYUGA CITY

新しい図書館整備の基本理念
学びの種をまき、
創造の芽を育て、
希望の実を結ぶ
市民のサードプレイス

第1回 2025 7月5日(土)
13:30-16:00
〈会場〉日向市役所4階委員会室

講演
13:30~14:20
『あなたの居場所を考えよう。
みんなで創る新しい図書館。』
講師：筑波大学大学院
図書館情報メディア研究科教授 吉田 右子さん

意見交換
14:30~16:00
『図書館が市民のサードプレイス
となるために必要なことは』
進行：株式会社イツノマ 中川 敬文さん

事前の
申込不要！

小・中学生の参加も大歓迎！
※託児はありません。
※小学生は保護者同伴、中学生は保護者の送迎をお願いします。

お問い合わせ 日向市役所 総合政策課
TEL.0982-66-1001



学びのタネを育てよう。みんなで育む未来のこども

HYUGA CITY HYUGA LABO LABO
日向ラボ・ラボ 第2回

新しい図書館複合施設
について市民の皆さんの要望が
多い室内遊び場のイベントを実施
します！新しい図書館づくりに
活かすためアンケートに
ご協力ください。

みんなで創る新しい図書館。

2025 **8月8日(金)・9日(土)・10日(日)** 午前10時～午後4時
日向市文化交流センター(大ホール)

ポーターランドの移動遊び場 無料/毎日申込
対象年齢：乳幼児(5か月)～小学生
※保護者の同伴が必須です。

エアトラック
対象年齢：3歳～小学生
※保護者の同伴が必須です。

マグフォーマー
対象年齢：3歳～小学生
※保護者の同伴が必須です。

サイバーボール
対象年齢：3歳～小学生
※保護者の同伴が必須です。

イマジンテーションプレイグラウンド
対象年齢：3歳～小学生
※保護者の同伴が必須です。

図書館イベントも盛りだくさん！
移動図書館『ひだまり図書館』
子どもたちが本に
関心を持ち、本を
読む機会を増やして
もらうために、児童
館や絵本をのせて
『ひだまり図書館』
がやります！！

特別上映会 無料
8月9日(土)のみ
午前
「ノタン」
「ちいちゃんのかげおくり」
午後
インド映画「RRR」

ワークショップ 無料/毎日申込
「パラボードキーホルダー作り」
対象年齢：3歳～小学生
実施時間 各日2回
①11:45-12:30
②14:15-15:00

パレオニ 無料/毎日申込
対象年齢：3歳～小学生
パレオニ(パレオニ発掘ごっこ)は、フィールド内にある障害物を避けながら1対1で行う発掘ごっこです！
実施時間 ①10:30-11:45 ②13:00-14:15 ③14:45-16:00 各日3回

パレオニ体験会/を開催！
対象年齢：3歳～小学生
実施時間 ①10:30-11:45 ②13:00-14:15 ③14:45-16:00 各日3回

絵本のおみかせ
保母士さんと
歌って遊ぼう

会場駐車場が満車の
場合、警察署跡地を
ご利用ください。
8月9日(土)・10日(日)のみ

お問い合わせ 日向市役所 総合政策課
☎0982-66-1001

※安全管理上、中学生・高校生だけでの入場はお断りする場合があります。
※混雑緩和のため、時間制限を設けることがあります。



創造の芽を育てよう「新しい学び」の発見

HYUGA LABO LABO 第3回 みんなで創る新しい図書館

日向ラボ・ラボ

創造の芽を育てよう
「新しい学び」の発見

市民アンケート等で要望の多い「カフェ」「体験ワークショップ」の実証実験を行うため、「中高生が行きたくなるカフェをつくろう!」をテーマに5つのチームに分かれて体験型ワークショップを実施します。

2025 9月27日 土
日向市役所1階市民ホール

対象 市内在住の中学生、高校生、大学生
日程 13:00~17:00 定員35名

ワークショップの申し込みはコチラ! QRコードをスキャンしてください。

A ブランドづくり
カフェのブランドづくりを体験! デジタル機材でグッズ制作!

- カフェの顔となるロゴの作成体験
- 3Dプリンターやレーザーカッター、カッティングプロッターなどを使ったグッズの制作

会場: 体験型シェア工房 ツクレタ

私たちがサポートします!

B メニュー開発
日向らしい「へべす」を使った、カフェメニューの開発体験

- カフェで販売する飲み物を考案、試作

会場: Tjukrupe Coffee ジャックルコーヒー

私たちがサポートします!

C 空間デザイン
理想のカフェ空間をデザイン、CGパースで表現!

- 図書館にほい理想のカフェ空間をCGパースやAI画像で制作

会場: 株式会社イヅノマ スタッフ (2級建築士)

私たちがサポートします!

D PR・発信
動画・映像制作を通して、理想のカフェを発信!

- 中高大学生に書くPRを考案
- 動画制作・映像づくり体験

会場: 株式会社amaru (動画・WEB制作)

私たちがサポートします!

E 衣装づくり
みんなが思わずつたくなるエプロンをデザイン・制作!

- カフェの店員が着用するエプロンデザインの作成体験
- ミシン、刺繍体験

会場: 株式会社イヅノマ スタッフ (服飾学科卒、先アパレル業)

私たちがサポートします!

それぞれのチームをプロがサポート! **Work Shop**

日向ラボ・ラボとは、市民の皆さんと協働、連携し、互いに知恵や力を出し合いつながり、新しい図書館や地域の課題や課題を共有する市民共創の取組です。新しい図書館や地域の課題や課題を共有する市民共創の取組なら、活動の結果や市民の皆さんの意見を活動づくりに活かします。

お問い合わせ 日向市役所 総合政策課
TEL.0982-66-1001 日向ラボ・ラボ



希望の実を結ぶ新しい居場所を創ろう

みんなで創る新しい図書館

HYUGA LABO LABO 日向ラボ・ラボ 第4回

新しい図書館複合施設の整備に向けて取り組む日向ラボ・ラボ。
今回のテーマは「子ども・若者×居場所×図書館」。
若者の求める「居場所」や居心地の良い図書館を実現するために、
必要な「モノ」や「コト」、「ヒト」について一緒に考えましょう。

第1部 講演 申込不要 | 誰でも参加OK! / 2025
11/29(土)
13:30-16:00
日向市役所 1階市民ホール

子ども・若者×居場所×図書館

13:30~14:20
文教大学 人間科学部 准教授
講師 青山 鉄兵さん
社会教育学や青少年教育論を専門分野とし、文部科学省生涯学習調査官や国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター副センター長などを歴任。2023年よりこども家庭庁「こどもの居場所部会」委員。

中学生~29歳以下限定 / 第2部 ワークショップ 事前申込
若者が来なくなる図書館

14:30~16:00
株式会社 イツノマ
進行 中川 敬文さん
東京でまちづくり会社UDS㈱を経営。キッザニア東京、神保町ブックセンター等企画・プロデュース。2020年都農町移住、㈱イツノマ設立。都農中学校の総合学習・地域クラブ運営。宮崎県内でこども参画まちづくりを実践中。

3 チームに分かれて
新しい図書館の
アイデアを出そう!!

1 読みたくなる本
2 ほしい機能・設備
3 イベント

日向ラボ・ラボとは？
日向ラボ・ラボは、市民の皆さんと協働、連携し、互いに知恵や力を出し合いながら新しい図書館複合施設の整備を目指す市民参画型のまちづくり活動です。
新しい図書館複合施設の施設や使い方を実証実験しながら、実験の結果や市民の皆さんの意見を踏まえて施設づくりに活かします。

お問い合わせ 日向市役所 総合政策課
TEL.0982-66-1001 日向ラボ・ラボ

ワークショップの申し込みはこちら
申込締切：11月21日(金)まで



希望の実を結ぶ新しい居場所を創ろう

みんなで創る新しい図書館
日向ラボ・ラボ 第5回

新潟県小千谷市
「ホントカ。」の
事例に学ぼう

2025
12.14日
14:00-16:00

会場
日向市役所 1階市民ホール
進行役
アカデミック・リソース・ガイド
李明喜さん、有尾柚紀さん

令和6年9月に開館した新潟県小千谷市の図書館の事例を学び、
オンラインのゲストスピーカーと日向市の参加者で意見交換を
しながら新たな図書館について語らしましょう。

オンラインゲストスピーカー紹介

土田 昌史さん
小千谷市職員
「ホントカ。」の理念
施設全般の整備・運
営を担当。

町田 祥子さん
小千谷市職員
「ホントカ。」の図書
館の整備・運営を担
当。

星野 哲也さん
小千谷市民
市民として開館前
から携わる。開館後
は有志のDIYイベント
にも参加。

日向ラボ・ラボとは？

日向ラボ・ラボは、市民の皆さんと協働、連携し、互いに知恵や力を出し合いながら
新しい図書館の建設の機運を醸成する市民共創の取組プロジェクトです。
新しい図書館建設の機運や使い方を共に考え、実現の結果や市民の皆さん
の意見を施設づくりに活かします。

お問い合わせ 日向市役所 総合政策課
TEL.0982-66-1001 日向ラボ・ラボ



まちと人をつなぐ図書館をつくろう

みんなで創る新しい図書館

HYUGA LABO LABO 第6回

まち × ひと × 図書館

新しい図書館複合施設の整備に向けて取り組む日向ラボ・ラボ。
今回のテーマは「まち×ひと×図書館」。
世代や立場を超えてアイデアを意見交換し、図書館とまち・ひとのつながりを生む企画を具体化します。5年間の実証実験に向けて「できることから試す計画」を一緒につくりましょう。

2026
1/24土
13:30-15:30
日向市役所 1階市民ホール

申し込みはコチラ
参加をご希望の方は
1月22日木まで
にお申し込みください。
※お子様連れOK
託児サービス利用の方は1/19月まで
にお申し込みください。

step 1
知りたい
学びたい
やってみたい
図書館ができるまでに動かす企画を考えてみよう!!

step 2
実証実験
令和8～12年度

step 3
にぎやかな
図書館
令和13年度 予定

当日の流れ

- 13:00～ 受付
- 13:30～ オリエンテーション
- 14:00～ ワークショップ
 - ① 自分が「教えられること・やれること」アイデア出し
 - ② 自分が「知りたいこと・学びたいこと」アイデア出し
 - ③ 実証実験の企画・アイデア出し、ロードマップ作成
- 15:00～ まとめ

日向ラボ・ラボとは?
日向ラボ・ラボは、市民の皆さんと協働し、互いに知恵や力をあわせて新しい図書館複合施設の整備を目指す市民参加型の先進プロジェクトです。
新しい図書館複合施設の機能や使い方を実証実験しながら、実際の現場や市民の皆さんの意見を踏まえてつくっていきます。

日向市の図書館委員会アドバイザーも参加します!
宮崎大学 地域資源創成学部 教授
桑野 育 さん
人文・社会や政治学を研究分野とし、公共施設マネジメントや公民連携に関する研究を実施。県内で各種委員を歴任するほか、日向市では、第3次日向市総合計画審議会副会長や第3次日向市財政改革大綱推進委員会会長などを歴任。

株式会社 イツノマ 代表取締役
中川 敬文 さん
東京でまちづくり会社UDSを運営。キッズニア東京・神保町ブックセンター等企画・プロデュース。2020年都庁移住、原イツノマ起業。都立中学校の総合学習・地域クラブ運営。宮崎県内でこども参画まちづくりを実践中。

お問い合わせ 日向市役所 総合政策課
TEL.0982-66-1001 日向ラボ・ラボ



本箱づくりワークショップ

みんなで創る新しい図書館

HYUGA LABO LABO 日向ラボ・ラボ 第7回

にぎやか × 笑顔 × 図書館

図書館は静かにしなきゃいけないところ？
まじめに本を読んだり、勉強したりする人しか行けないところ？そんなステレオタイプを打ち破り、いろんな音を許容する図書館をめざして、実証実験を行います。にぎやかな笑い声、金づちで釘を打つ音、おわくがこたます！！

ほんばこ
本箱づくりワークショップ

2026 **2/14 土** 日向市立図書館
日向市春原町1丁目47番地

参加無料 ①13:00～ ②14:30～

図書館に設置する本箱を組み立てて、オリジナルのイラストや自分の名前をレーザーで刻印しよう！

子どもから大人まで！チームでも参加OK!!

各回先着 **10組**
お申し込みはコチラ！
対象 日向市内にお住まいの方
※小学生以下は保護者同伴

講師 体験型シェア工房 ツクレタ

宮崎市内で「ものを作る喜び」が毎日ある場所」をコンセプトに、自分の手で一つ一つの作品を完成させる「ツクレタ体験」ができるお店を展開中。第3回日向ラボ・ラボでもカフェのブランドづくり体験をサポートしてくれました。

日向ラボ・ラボ とは？
日向ラボ・ラボは、市民の皆さんと協働、連携し、互いに知恵や力を出し合いながら新しい図書館複合施設の整備を目指す市民共創型の民間プロジェクトです。新しい図書館複合施設の構想や使い方を実証実験しながら、実証の結果や市民の皆さんの意見を施設づくりに活かします。

お問い合わせ 日向市役所 総合政策課
TEL.0982-66-1001 日向ラボ・ラボ



開館時間・運用変更

日向市立図書館が利便性向上 市民の声取り入れる

2026.04.04 19:52

日向市立図書館（海野由紀館長）は今月から、館内で飲食や雑談を認める運用を開始している。図書館複合施設整備に向けた市民の意見を採用した。利用時間と休館日も見直し、気軽に利用しやすい図書館を目指す。



飲食や談話が可能となるなど運用が見直された日向市立図書館

宮崎日日新聞インターネット記事

得意わざ大学の毎月開催



市民が先生、勝手にまに教えます！

得意わざ大学 第1回 スマホカメラ講座

4月29日 水 10:30~11:30



写真の構図やテクニック
について教えます！

※スマートフォンの操作を詳しく教える講座ではありません。

受講料 無料！

会場：日向市立図書館 1階東側閲覧室
持ってくるもの：スマートフォン

申し込みはこちらから→
返却カウンター、本館職員へ直接申込
電話申込でもOK！
図書館TEL：54-1919





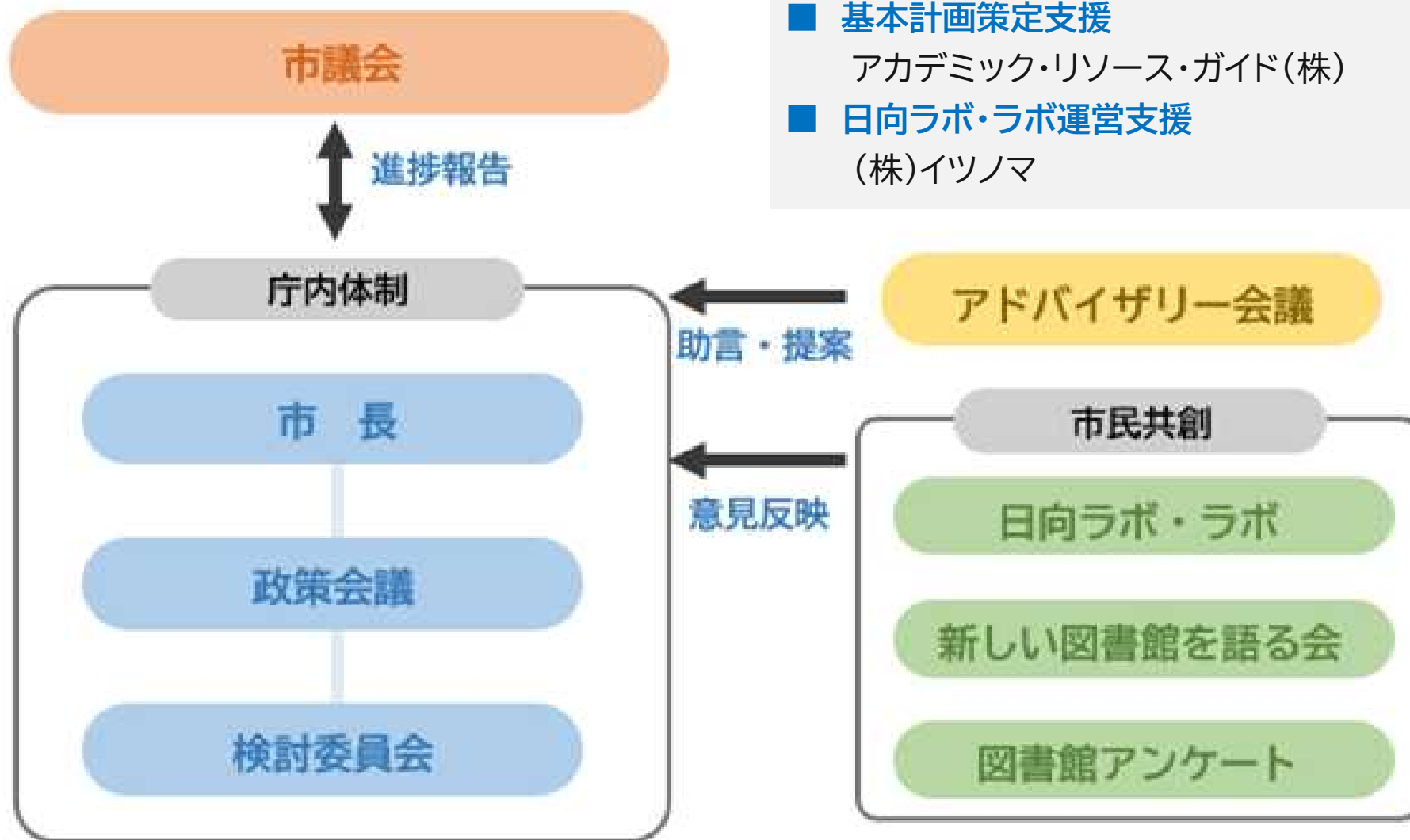
新しい図書館を語る会では、日向市内で活動する様々な団体や関係者を対象に「新しい図書館複合施設に望むこと」「新しい図書館複合施設で活動できること」などについて、各団体の立場から幅広い意見やアイデアを出してもらいました。

令和8年6月に日向市文化連盟加盟団体を対象に実施。今後も継続して様々な団体と開催し、施設の機能・空間などについて意見交換を行っていきます。

R7.7月	・日向商工会議所青年部 ・日向高等学校フロンティア科1年生 ・本町商店会 ・原町商店会 ・ひゅうが新町商店街振興組合
R7.10月	・日向市PTA協議会 ・陶芸クラブ ・シャルウィダンス ・ヴァイオリン教室 ・日向木挽歌大会実行委員会 ・日向市文化連盟 ・市内保育園、幼稚園等 ・日向混成合唱団
R8.1月	・日向市肢体不自由者父母の会 ・日向聴覚障害者協会 ・日向地区腎臓病患者友の会 ・音訳・点訳ひゅうが虹の会 ・図書館ボランティア「友の会」
R8.6月	・日向市民吹奏楽団 ・日向市楽友協会 ・日向市美術協会 ・日向市舞踊連盟 ・日向市写真協会 ・伊達バレエスクール ・日向市華道連盟

3.これまでの経緯

(3)策定作業の進捗状況について



基本計画策定支援事業者

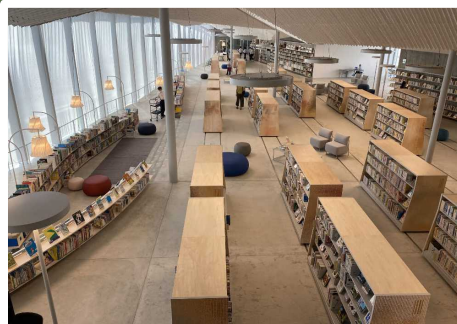
アカデミック・リソース・ガイド(株)

(協力事業者:(有)マル・アーキテクチャ)

- ・「学問を生かす社会へ」をビジョンに掲げ2009年創業。実空間・情報空間の融合、実践的なデザインプロセス、徹底したリサーチを軸とした公共・商業施設及び地域のプロデュース事業やウェブ技術を中心とした産官学民連携のコーディネート事業を得意としている。
- ・ライブラリーマガジン『ライブラリー・リソース・ガイド』(LRG)(2012年創刊)等の公共的コミュニケーション事業も展開。
- ・図書館複合施設の基本構想・基本計画策定や管理運営計画の策定支援などにも多数実績あり。



須崎市図書館複合施設



小千谷市「ホントカ。」

日向ラボ・ラボ運営支援事業者

(株)イツノマ

- ・都農町を本拠地とする2020年創業のまちづくりベンチャー。
- ・「人からはじまる、まちづくり」をミッションに、こどもが参画するまちづくり、地方で新しいコトを起こす人が出会える場づくりを目指している。
- ・現在は、まちのグランドデザイン、小中学校の総合・探究学習、まちづくりホステルの経営など、多種多様なプロジェクトに挑戦している。
- ・日向市では、地域コミュニティ課主管の人材育成事業「ひまわり塾」の運営を受託しているほか、令和7年度から日向ラボ・ラボの業務を受託。



代表取締役 中川敬文さん

互いに情報共有や定期的な協議を行いながら、市民ニーズの結果を基本計画策定に活用。

HYUGA LABO LABO

みんなで創る新しい図書館

日向ラボ・ラボ

第8回

市民が集まるひなたリビング
みんなの「居場所」を考えよう

2026 7月19日 日
日向市役所1階市民ホール

新しい図書館複合施設の整備に向けて取り組む日向ラボ・ラボ。
今回のテーマは、生涯学習機能と子育て支援機能です。
「こんな施設になったらいいな！」を一緒に考えましょう。

生涯学習 × 図書館 × 子育て

第1部

講演 10:30-12:00 申込不要

図書館・公民館での生涯学習って？
新しい図書館複合施設で
誰とどんなことができるかイメージしてみよう

文教大学 人間科学部 教授
講師 青山 鉄兵さん
社会教育学や青少年教育論を専門分野とし、文部科学省生涯学習調査官や国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター副センター長などを歴任。2023年よりこども家庭庁「こどもの居場所部会」委員。

みんなの「知りたい」「やってみたい」を支える
「知の拠点」に。

日向ラボ・ラボとは？
日向ラボ・ラボは、市民の皆さんと協働、連携し、互いに知恵や力を出し合いながら新しい図書館複合施設の整備を目指す市民参画型の共創プロジェクトです。新しい図書館複合施設の機能や使い方を検証しながら、実験の結果や市民の皆さんの意見を施設づくりに活かします。

第2部

ワークショップ 13:30-16:30 要申込

「いま困っていること」「こうだったらいいな」を共有して、子どもや子育て世代が安心して過ごせる「親子の居場所」を考えよう

株式会社 イツノマ
進行 中川 敬文さん
東京でまちづくり会社UDS㈱を経営。キッズシア東京、神保町ブックセンター等企画・プロデュース。2020年都農町移住、㈱イツノマ起業。都農中学校の総合学習・地域クラブ運営。宮崎県内でこども参画まちづくりを実践中。

お申し込みは二次元バーコードから

対象 日向市内在住で子育て中の方
参加をご希望の方は
7月15日(木)までにお申し込みください。
※託児サービスをご利用の方は
7月9日(木)までにお申し込みください。

お問い合わせ 日向市役所 総合政策課
TEL.0982-66-1001 日向ラボ・ラボ

つながり合う空間。多様なひとがともに学ぶ。

- ・「図書館×生涯学習」をテーマに、文教大学青山教授より講演。
- ・「図書館×子育て」をテーマに、子育て中の方を対象に意見交換。
- ・今後も「生涯学習」「子育て」「中心市街地活性化」をテーマに日向ラボ・ラボを開催。
市民からの意見を聞き取りながら、基本計画へ反映していきます。(令和8年度で計7回開催予定)

**市内7か所で
「新しい図書館を語る会」開催**

日時(令和8年)	会場
5.22(金) 19:00~20:00	大王谷コミュニティセンター
5.23(土) 14:00~15:00	市庁舎1階市民ホール
5.25(月) 19:00~20:00	財光寺まちづくり事務所
5.26(火) 19:00~20:00	日向ひとものづくりセンター
5.27(水) 19:00~20:00	南日向公民館
5.28(木) 19:00~20:00	美々津公民館
5.29(金) 19:00~20:00	東郷公民館

内容 基本構想の説明・質疑応答・意見交換
※各回同じ内容です。資料は会場で配布します。
(後日、市ホームページへ掲載予定)

対象者 市内在住または市内に通勤・通学される方

申込 事前申込は不要です。

◎総合政策課図書館複合施設準備係 ☎66-1001

**新図書館、コンセプト決定！
市民が集まるひなたリビング**

～みんなの学びと創造、未来を育む自由な居場所～

市では、令和8年3月に新しい図書館複合施設の整備に向けた「日向市図書館複合施設整備基本構想」を定めました。

基本構想は、市民アンケートや関係団体との意見交換、「日向ラボ・ラボ」など多様な取組を通じて把握した市民ニーズを反映し、求められる施設の機能や規模、コンセプトを整理したものです。

進む老朽化

現在の市立図書館

建設から60年以上が経過し、老朽化が著しく日向市立図書館、スペースの狭小で、設備も不足しています。

**令和13年度の
供用開始を目指して！**

候補地 市庁舎東側隣接地
市有地等の比較検討を行い、市庁舎隣接地を候補地として決定しました。

建設候補地

日向市庁舎

スケジュール 令和13年度供用開始
令和8年度に基本計画を策定し、令和9年度以降に設計や工事に着手し、令和13年度の供用開始を目指します。

※機能・想定面積、概算事業費、スケジュールは現時点での想定です。今後、基本計画や設計において精査していきます。

**未来の図書館を
みんなで考える**

市民共創の取り組み

図書館利用者アンケート
図書館利用者を対象に、現在の図書館の改善点や新しい施設に求めるサービス等に関するアンケートを行い、225件の意見をいただきました。

新しい図書館を語る会
図書館関係者、保育所・幼稚園関係者、文化団体といった様々な関係団体との意見交換を全12回行いました。

日向ラボ・ラボ
日向ラボ・ラボとは、市民の皆さんと新しい図書館複合施設の整備を目指す市民参画型の共創プロジェクトです。「市民がやってみたいこと」を実証実験する場として全7回開催し、延べ1,953人の方にご参加いただきました。

サウンディング型市場調査
新しい施設の機能や公民館連携に関するアイデアなどについて、申し込みのあった地元事業者9社と意見交換を行いました。

機能・想定面積 6,250㎡

図書館	2,500㎡
子育て支援	1,250㎡
生涯学習・市民活動支援	1,250㎡
カフェ・交流・つらな空間など	1,250㎡

概算事業費 88億円
設計、建設費、用地・解体費等の合計で88億円を想定しています。

詳細は市ホームページに随時掲載しています

出典 広報ひゅうが5月号

情報発信・周知方法

- ・ホームページ掲載、SNS発信(LINE、Facebook、アプリ)
- ・広報ひゅうが5月号掲載
- ・案内チラシ 区への班回覧

**「出張ラボラボ」
新しい図書館を語る会**

市では、令和8年3月に新しい図書館複合施設の基本構想を策定しました。内容説明と意見交換の場として、市内7会場で説明会を開催します。事前の申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください！

平日開催 19:00~20:00

5月22日(金) 大王谷コミュニティセンター
25日(月) 財光寺まちづくり事務所
26日(火) 日向ひとものづくりセンター
27日(水) 南日向公民館
28日(木) 美々津公民館
29日(金) 東郷公民館

週末開催 14:00~15:00

5月23日(土) 市役所1階市民ホール

ぜひお近くの会場にご参加ください！

事前申込 不要

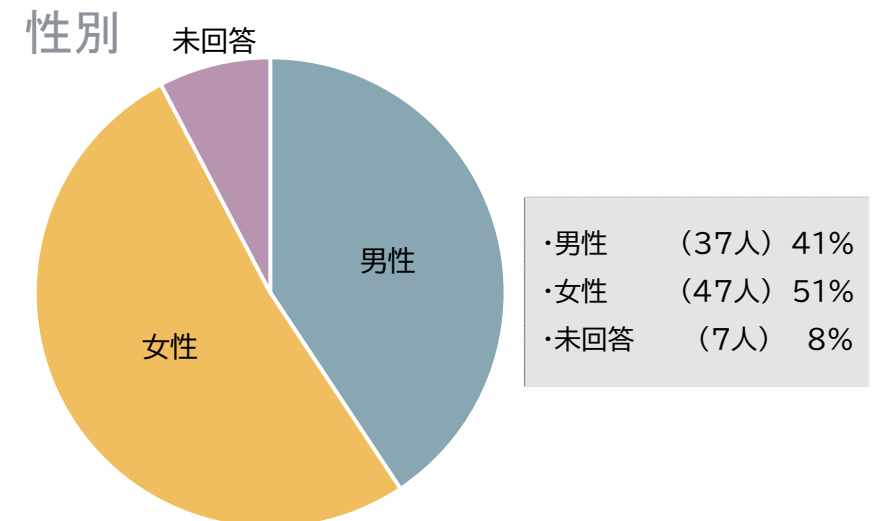
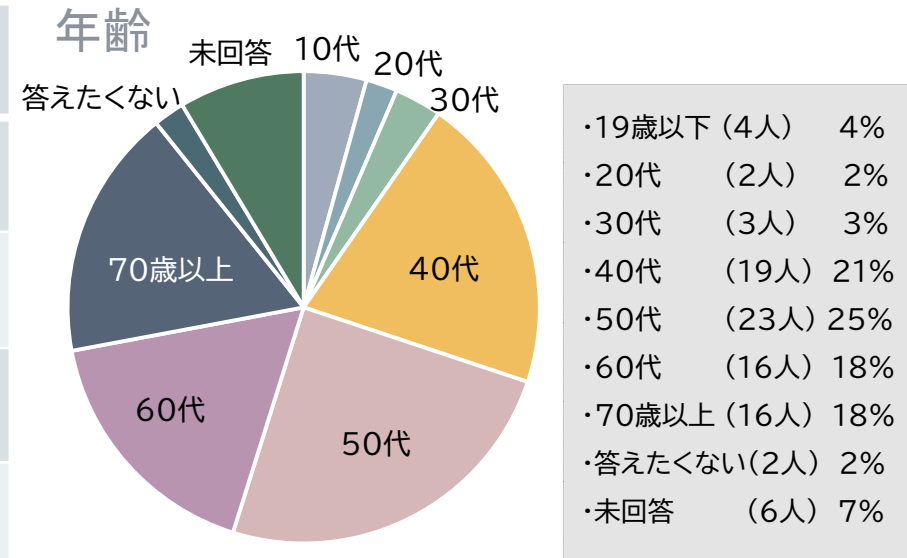
内容 基本構想の説明・質疑応答

対象者 市内在住 または 市内に通勤・通学される方

お問い合わせ：日向市総合政策課 図書館複合施設準備係 ☎0982-66-1001

出典 案内チラシ

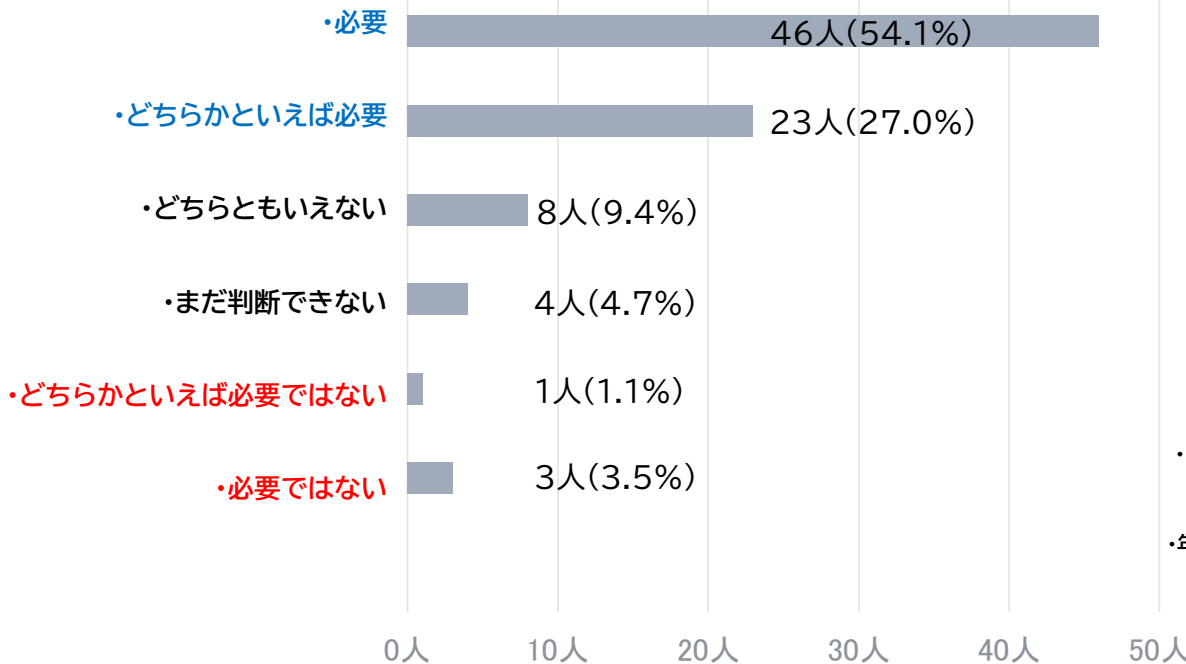
日時	会場	参加者数
5/22(金) 19:00～20:00	大王谷コミュニティセンター	8人
5/23(土) 14:00～15:00	市役所1階市民ホール	22人
5/25(月) 19:00～20:00	財光寺まちづくり事務所	17人
5/26(火) 19:00～20:00	日向ひとものづくりセンター	18人
5/27(水) 19:00～20:00	南日向公民館	12人
5/28(木) 19:00～20:00	美々津公民館	7人
5/29(金) 19:00～20:00	東郷公民館	7人
計		計 91人



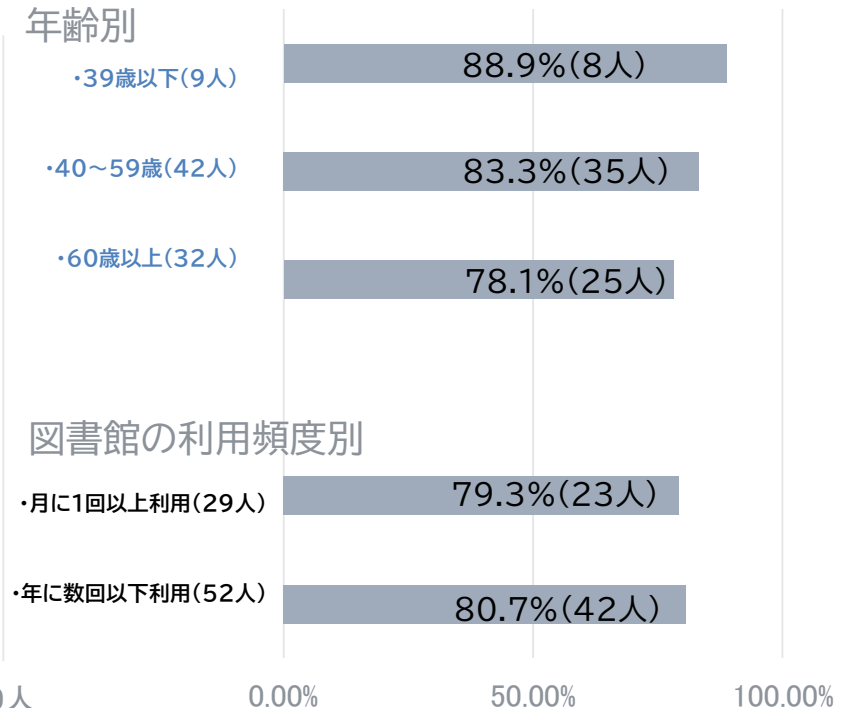




Q「新しい図書館複合施設」の整備は必要だと思いますか。

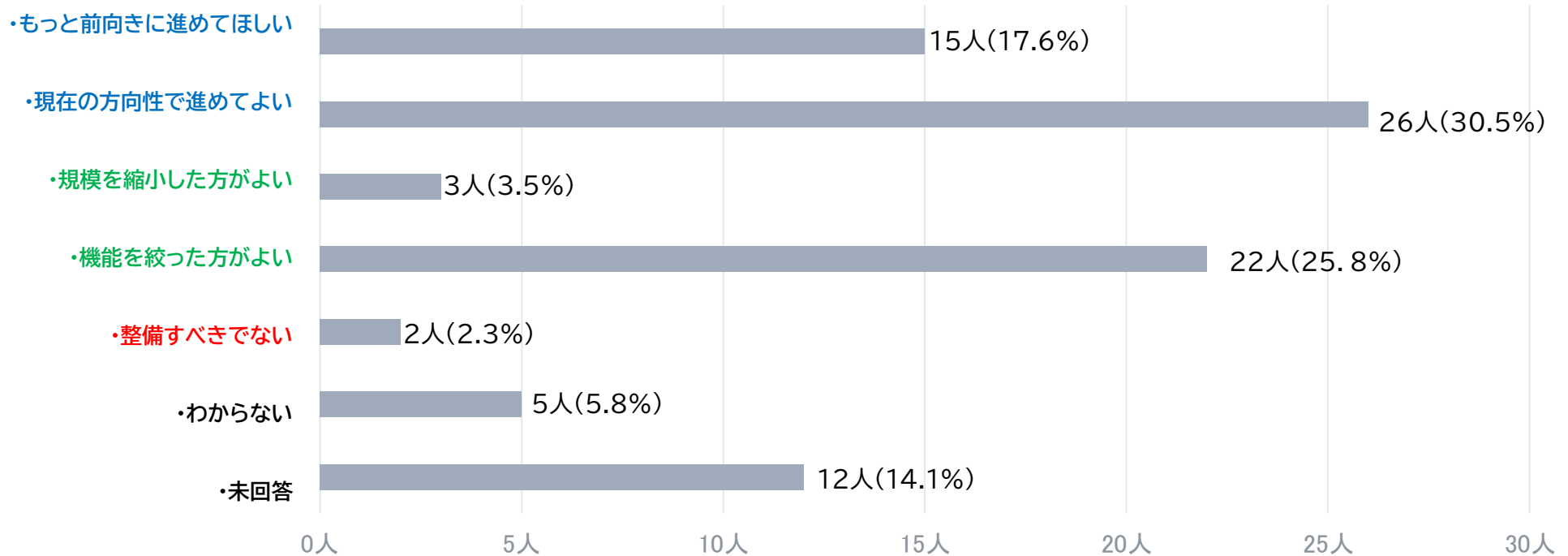


「必要」「どちらかといえば必要」の割合(年齢別、利用頻度別)



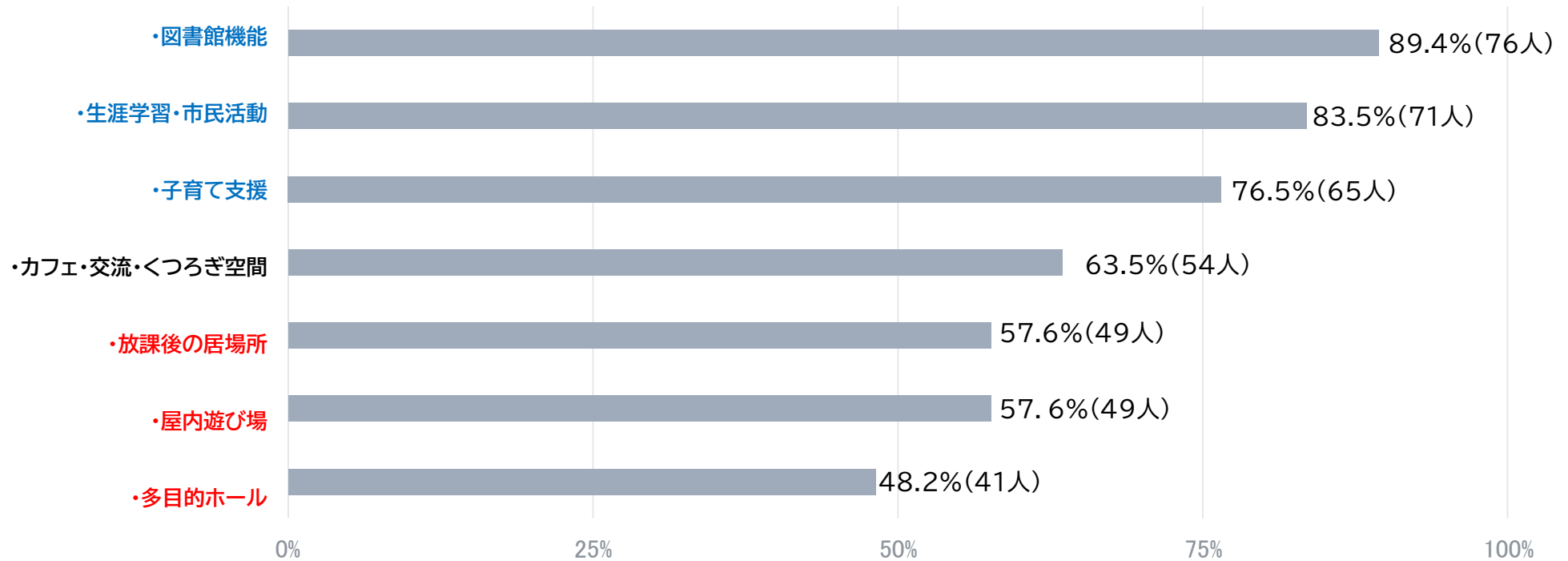
- ・「必要」54.1%、「どちらかといえば必要」27.0%で、支持は合計81.1%。
- ・「必要ではない」「どちらかといえば必要でない」は合計4.4%で、整備については強い支持がある。
- ・年齢別では、支持率は39歳以下 88.9%、40～59歳以下 83.3%、60歳以上 78.1%と高い水準にある。
- ・図書館の利用頻度別では、「利用頻度が低い層(年に数回以下の利用)」でも80.7%と高い水準にある。

Q 現在の事業の進め方について、現時点の考えに近いものを選んでください。



- ・「もっと前向きに進めてほしい」17.6%「現在の方向性で進めてよい」30.5%で、支持は合計48.1%。
- ・一方、「規模を縮小した方がよい」3.5%「機能を絞った方がよい」25.8%で、見直しについて求める声が計29.3%
- ・「わからない」「未回答」が19.9%あるため、引き続き、機能の優先順位や事業費等について説明が必要

Q「新しい図書館複合施設」の機能の必要性について教えてください(「必要」と回答のあった割合)



- ・最も高いのは「図書館機能」89.4%で、次に「生涯学習・市民活動」83.5%、「子育て支援」76.5%。
- ・「カフェ・交流・くつろぎ空間」「放課後の居場所」「屋内遊び場」は一定の支持がある一方、静かさを求める利用者がいることから音のゾーニングが必要
- ・「多目的ホール」は48.2%が必要とする一方、「必要ではない」といった意見も17.6%(15人)ある。

令和8年度日向市図書館複合施設整備に係るサウンディング型市場調査を実施します

1. 調査の概要

(1) サウンディング型市場調査とは

サウンディング型市場調査とは、事業の検討段階で、民間事業者と対話し、事業アイデアや市場性の有無、実現可能性などを把握するための調査手法です。

官と民がパートナーとして対話を重ね、より良い事業のあり方を共に創り上げていくことを目指します。

(2) 調査の背景・目的

現在の日向市立図書館は、旧日向保健所(昭和40年建築)を改修し、平成9年に新たな図書館として開館しましたが、建築から約60年が経過し、施設の老朽化が進んでいるため、安全性や快適性に問題が生じています。

また、現在では市民の図書館に対するニーズも多様化・複雑化しており、学習・交流の場の提供やデジタルサービスの充実、地域情報の発信など、サービスの向上が求められています。

これらの状況を踏まえ、市民の皆さんが利用しやすい「知の拠点」であり、新たな「交流拠点」となる図書館複合施設の整備に向けた検討を進めており、令和8年3月に「日向市図書館複合施設整備基本構想」を策定しました。

本調査では、今年度策定する「日向市図書館複合施設整備基本計画」に向けて、民間事業者との対話を通して、図書館複合施設の導入機能や小さな官民連携(PPP)※のスキームや事業手法(従来型手法またはDB方式(Design-Build))等について、民間事業者の専門的な知見や参画意欲を把握し、計画の実現性を高めることを目的とします。

※「小さな官民連携(PPP)」とは

大規模なインフラ整備や事業運営におけるPPP手法(DBO、PFI等)にとどまらず、より身近で地域に密着した小規模な事業として、自治体(官)と民間事業者や市民(民)が協力し合い地域に新たな賑わいや価値を創出することを目指す取り組み。

(3) 調査方法

「設計・施工事業者」と「施設運営、カフェ・飲食、ICT・システム事業者」に分けて実施します。
それぞれの実施要領・参加申込書をご確認ください。

2. 設計・施工事業者向け

参加を希望する事業者の方は、実施要領 5(2)をご確認のうえ、別紙の参加申込書をご提出ください。

(1) スケジュール

令和8年6月15日(月曜日) : 実施要領の公表
6月15日(月曜日)以降 : アンケート帳票の送付
7月31日(金曜日) : アンケート帳票の回答期限
8月中旬以降 : 必要に応じてヒアリング実施

(2) 資料

- ・実施要領
- ・参加申込書

3. 施設運営、カフェ・飲食、ICT・システム事業者向け

参加を希望する事業者の方は、実施要領 5(2)をご確認のうえ、別紙の参加申込書をご提出ください。

(1) スケジュール

令和8年6月15日(月曜日) : 実施要領の公表
7月21日(火曜日)以降 : ヒアリングの実施

(2) 資料

- ・実施要領
- ・参加申込書

4. 実施結果の公表

令和8年10月上旬以降

設計・施工 アンケート期限:7月31日まで
運営、カフェ、システム ヒアリング:7月中旬～下旬

4. 議事

(1) 居心地のよさの実現について

主な市民ニーズ

➤ 広く快適で開放的な空間

自然光や緑、木の温もり、ゆとりのあるスペース

➤ 誰もが利用しやすい環境

バリアフリー、迷いにくい動線、安心して使える配置

➤ 多様な滞在ニーズへの対応

読書、学習、仕事、親子利用、気分転換、交流

空間・サービスの要望

具体的な要望

➤ カフェ・飲食スペース

➤ 学習・仕事スペース、Wi-Fi 等のICT環境

➤ 親子で過ごせる場所、屋内遊び場

➤ 誰でも利用しやすい、開放的で入りやすい施設

主な声:「ゆっくり過ごせる場所」「気軽に立ち寄れる場所」
「家族で気軽に行ける場所」「何時間でも過ごせる雰囲気」が大事

様々な期待がある一方、市議会や市民からは事業費や施設の集約・再編についても意見があり、市民が求める「居心地のよさ」と運営や規模、コストの両立も踏まえた基本計画を検討する必要がある。

居心地のいい図書館って、どんな図書館ですか？

みなさんが「ここならまた来たい」「落ち着く」と感じる場所や工夫を付箋に書いて貼ってください。

空間・雰囲気

非現実を感じる空間	堅苦しくない	窓から緑が望めると落ち着ける	誰もが楽しめる場所	蔵書の充実
親子で楽しめるスペース	キッズが楽しめる場所	幼児専用の読書コーナー	飲食可能なフリースペース	カフェがあったらいいな
短時間でも満足を得ることができる	経年劣化したら買替や交換を	清潔・消毒	ソファをたくさん設置してほしい	座敷のスペースがあるといい
静かな場所と会話のできる場所のメリハリ	時間を気にせず利用出来る雰囲気があるといい。	高齢者・障がいを持つ人に優しい空間	赤ちゃんを安心してハイハイさせることができる	学習スペースの充実 個人学習 グループワーク

過ごし方

本の種類が豊富	リラックスできる、寝れる	お茶がゆっくり飲める場所	友達としゃべりながら勉強できる、楽しい	ゆっくり、ラフにだれもが過ごしやすい場所
静かに読書したい、勉強したい人が集中できる	ある程度の雑談OKのスペースがあるといい	パソコンやタブレットの設備の充実	ひとりでも、居心地が悪くない雰囲気のある図書館（ゆっくり本を選んで、読みたい本がたくさんあること）	
自分では、手に入れないような珍しい貴重な本を探したい	特に目的がなくて、ふらっと自由に立ち寄れる場所になれると良い	ゆっくりと本を読む時、窓から緑や花が見えるような図書館		

人との関わり

お勧め本を紹介する場	読書の楽しさを教えてくれる司書さん	親しみやすく誰もが過ごしやすい	スタッフの接客態度が一番であると考えている
利用者がたくさんいても、1人の時間に集中できる	本当に気軽に行ける、もう一度行きたくなる場	学校教育に関する人々（ボランティア）の打ち合わせ場所、スペースもほしい	子どもたちが、普段チャレンジできないような事に触れることのできる機能を備えてほしい

設備・サービス

図書館の条例の見直しを（基本理念・目的など）	様々なジャンルの本が揃っている	年代に合った献立がたくさん紹介されている本	絵本がたくさんあって、作家さん達の講演会が定期的に行われている図書館	ゆっくり座れるイス
湿気のない空間	入ったら快適な温度感	交通手段の確保	視聴覚室の充実 ミニシアターが欲しい	多様な情報提供の場所
市の歴史に触れられるコーナーがあるといいな	資料館・美術館・博物館などを併設し、学校の遠足や見学とかも利用出来る	親子で食事ができるスペースがあると良い	多目的ホールの音響設備を充実させてほしい	時代変化により、間取りが変えられる柔軟性
				中庭やポーチなど、ひなたぼっこや休憩ができる空間がほしい

1. 「居心地のよさ」を空間・運営の両面でどう実現すればよいか

建築計画、家具・しつらえ、音・光・温熱、ルールづくり、スタッフ配置など

2. 読書機能と多様な過ごし方をどう両立するか

静けさとにぎわい、個人利用と交流利用、世代別ニーズへの対応

3. 中心市街地や周辺施設とどうつなげるか

市庁舎、日向市駅、商店街、公共交通、駐車場との連携

4. 基本計画で優先的に決定すべき論点はなにか

事業手法、共創の取組、管理運営体制、民間連携の具体化

5. 今後の予定

日 時	項 目
7月19日(日)	・第8回 日向ラボ・ラボ (テーマ:第1部:生涯学習、第2部:子育て支援)
7月21日(火)～27日(月)	・サウンディング型市場調査
8月29日(土)予定	・第9回 日向ラボ・ラボ (テーマ:生涯学習)
9月～10月 ※要調整	・第2回 図書館複合施設アドバイザリー会議